

# お客さま・地域の皆さまとともに



東日本旅客鉄道株式会社  
執行役員盛岡支社長

大内 敦

2015年12月11日に山田線の松草駅（平津戸駅間で発生した土砂流入による列車脱線により、現在も一部区間で運転見合わせが続いております。ご利用のお客さま、地域の皆さまにご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。これまで運転再開に向け全力で復旧作業を進めてまいりましたが、11月5日に盛岡駅～宮古駅間で運転を再開できる運びとなりました。ご協力をいただきました林野庁、岩手県、盛岡市、宮古市をはじめとした関係の皆さまに心より御礼を申し上げます。山田線がさらに多くのお客さまに安心してご利用いただける路線となりますよう、安全設備の整備を推進し、災害に強い鉄道をつくってまいります。

JR盛岡支社には、観光面からの震災復興支援、地域活性化を目的として復元した「SL銀河」をはじめ、7月にリニューアルした「POKEMON with YOU トレイン」や「TOHOKU EMOTION」など、「乗ること自体が目的となるような」のつてたのしい列車が、ございます。これらの列車は、岩手県内はもとより県外のお客さまにも大変ご好評をいただいております。新函館北斗駅まで広がった新幹線ネットワーク、当社の情報発信力を活かした「のつてたのしい列車」をさらに多くのお客さまに知って

ただき、岩手への観光流動をつくることで、岩手をさらに元気にしてまいりたいと考えております。また、本年5月からJR東日本のフラッグシップトレインとして「TRAIN SUITE 四季島」が運行を開始いたしました。東北の豊かで美しい自然や四季、地域に根差した産業や文化など、東北の岩手の魅力を「四季島」をご利用のお客さまのみならず、多くの皆さまに感じていただけるよう広く情報発信し、地域の皆さまとともに、私たちだからこそできる観光流動を創造し、地域活性化に貢献してまいりたいと考えております。

産業振興面では「いわて食材発信プロジェクト」を立ち上げ、地域と連携し、岩手の魅力的な食材を取り上げて商品の共同開発を行い、JR東日本グループの販売ネットワーク・情報発信力を活かし、地域活性化、復興支援を進めてまいりました。これまで岩手県、岩泉町と商品の共同開発を行っており、握り寿司駅弁「三陸秋刀魚岩手箱」「岩泉の極味肉饅」などは、多くのお客さまにご好評をいただいております。また、JR東日本グループの行う「地域再発見プロジェクト」では、首都圏での販路を持つメリックトを活かしながら、地産商品の掘り起しや伝統文化、祭りなどの観光資源の情報発信を行い、地域活性化に努めております。これ

まで、上野・大宮・浦和・市川の各駅で「いわて産直市」を開催し、岩手の旬の味覚、酒、銘菓、土産品、農水産加工品などを販売してきたほか、岩手県内のおすすぬ観光情報の発信などを通じ、岩手県内の事業者の首都圏での販路拡大や岩手の魅力を多くの方々へ情報発信する取り組みを行っております。本年は、東北新幹線（盛岡駅～大宮駅間）開業35周年、JR発足から30周年の節目の年となりました。お客さまや地域の皆さまをはじめとする弊社を支えていただいたすべての皆さまに感謝申し上げます。東北新幹線は1991年に東京駅、2010年に新青森駅まで延伸し、北海道新幹線を含めると東京駅から新函館北斗駅までのネットワークが形成されました。さらに、最高速度は開業当初の210km/hから320km/hとなり、盛岡駅～大宮駅間の所要時間は最速3時間17分から1時間47分に短縮されました。この拡充された新幹線ネットワーク・速達性を活かし、東北・岩手への交流人口をさらに増やしてまいりたいと考えております。また、発足30周年を迎えた今、改めて「自主自立」「お客さま第一」「地域密着」という国鉄改革の原点に立ち返り、これからも「お客さま・地域の皆さまとともに」岩手をさらに元気にできるよう、微力ながら努力してまいります。